

非正規並の賃金に置き換えようとする「新一般職」・正規社員



夏・冬の一時金で毎月の
自局採用で即戦力に

給制の方が若干高いもの
の、正社員の「新一般職」
では3分の2ほどに激減
するのです。

と、同時に受験を躊躇
させる給与の問題があ
る。「伝送便」のH・P
に「月給正社員から新
一般職へ登用されたAさん
の給与明細書での比較」
があり、月々の給与を「時
給単価」にしたのが下段
の比較表となります。

来年度の正社員登用試
験が一次のWeb試験が
実施されたが、ある局で
は、「ネット環境がない
のなら、ネットカフェで
受けなさい」と言うなど
とんでもない扱いになっ
ている。と、聞く。

月々の給与は激減

給与の穴埋めをしないと
暮らせないなど、今の生
活を見直さなければなら
ないとも言えます。

あわせて、支社エリア
内でたった370人の採
用枠でもあり、競争率も
高い。会社にとって、都
合がよい「所属長評価」
もあり、公平性にも疑問
が持たれています。本来、
自局採用であれば即戦力

時給制A一習熟有
Fさんの場合

基本給月額
260,480円
(22日勤務として)

時給 1480円

月給制契約社員
Aさん(30歳)
の場合

基本給月額
260,940円

時給 1,505円

新一般職(正社
員)Aさん(30
歳)の場合

基本給月額
159,600円

調整手当
23,850円

時給 1,055円

にもつながり、いままでの
生活圈や人間関係を活かし
ていけるのに、他局での採
用を位置づけるなど、受験
を躊躇する問題が多すぎま
す。「新一般職」の条件引
き上げと「公正」な試験を
求めることが必要です。

「戦争させない国へ」
の運動を広めよう! (い)

ヘイトスピーチやマスコミ
のバッシングと差別の風潮が
クローズアップし、「いつか来
た道」か。「戦争させない国へ」
の運動を広めよう!

69年目の終戦の日を15
日に迎えた。戦後世代が多く
職場では、何を語られるもの
ではないでしょうが。映画監
督の山田洋次さんが新聞で「差
別から戦争が」と書いていた。
「あの当時、中国や朝鮮の人
たちに怖ろしい差別意識を持
っていた。中国の兵隊が殺さ
れるのは当たり前だし朝鮮の
娘さんが慰安婦になっっている
ことは小学生のぼくまでが知
っている・・・戦争は他民族
に対する憎しみや差別視とい
うおぞましい国民感情をおお
り立てることから始まること
を・・・」と語っていた。

休憩室

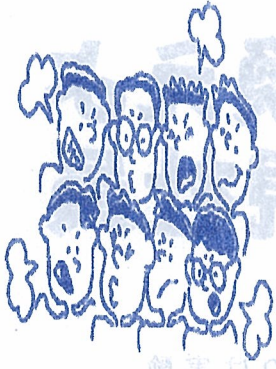
ユニバーサルサービスがどうなっているか、地域にも広げる運動を！

頼りになる労働運動を

17日の午後2時から浦安市内の公民館で、浦安支部の定期大会を開催してきました。

支部長からは、「一百害あって一理もない安倍政権」に対峙した労働運動を支部でもつくり、「統合」「合理化」でサービス低下を許さないたたかいを広めよう。との挨拶がありました。

来賓挨拶の市浦労連の議長は、「労働法制の改善では廃案になった、残業代ゼロ法案など、次の国会での成立を目指す安倍政権は、財界とアメリカの言いなりの政権。国民のたまたかいで変えていきましよう」。共産党の浦安市議からは「地方政治アンケートで、北栄、当代島地域に局所をつく



ってほしい」などの要望が上がっている。住民の声に傾けたサービスになるように一緒に頑張りたい。などの連帯挨拶を受けました。

要員不足は続いている

その後、支部書記長からの「方針案」の説明は、資料も交え全国の動きを含め丁寧に提案されました。

討論では、「正社員登用試験での所属長評価についてどう考えるか」「組合財政の扱い」「人手不足による労働条件悪化に支部での対応」などの質疑に、執行部からは「所属長評価については、不当労働行為を許さない。告発を含め対応していく」。公共サービスを守るはずの郵便局がどうなっているのかを広め、地域住民と共にたたかいを広げる運動を」と、討論をまとめました。

最後に、支部書記長の音頭で「団結頑張ろう」を三唱し、閉会しました。

第3回支部大会議案資料より

2013年12月 市川市議会での「集配・統合」問題での質問。

市政一般について、行徳地区の市民の利便性の観点から、行徳郵便局の集配業務に対する市の認識について伺いました。私の質問通告が出ましたら・・・総務部が浦安郵便局にすぐ行ったんですよ。向こうの幹部と話をした。再配達と言うけれども、電話してもつながらない。(不在郵便物)とりに行く、行徳地区じゃないところじゃなくて浦安まで、車もない年寄りがどうするのって。近くの行徳郵便局で集配業務やっていたからいいけれども、浦安まで・・・総務部が行った時は駐車場が狭くて、あふれていた。順番待ちの市民が待っている。直接浦安郵便局にも取りに行けない、そういう中で不在保管郵便物については再配達制度があるが、今言ったように、電話をしても中々つながりにくく、実質的に大変利用しにくい制度となっております。また、事前に連絡すれば最寄りの郵便局まで持ってきてくれる便利な制度があることは理解しました。しかし、現在でも行徳地区の住民から、浦安郵便局までとりに行くのは遠くて不便だという声が多数寄せられています。

鷲岳の絶景ポイントを巡る山行のはずが・・・私の夏休み

西日本や近畿での豪雨、多大な犠牲者まで出した異常気象。私達の山行きは、その「前線の停滞」が抜けないまま、不安を持ちながらの山行でした。
*25日 黒部ダムを扇沢から黒部ダムを超え、ロプウエイでは時折折陽をさす「針ノ木岳からの稜線」を見るのができたのがせめてものすくい。トロリーバスの終点の室戸平(2500m?ほど)から今夜の山小屋、一の越山荘に
*26日 雨風が打ち付ける昨晩から続く雨で立山三山の「稜線は危険」と。山を下って、鷲岳を望む「鷲御前小舎」への登山に切り換えたが、直下の雷鳥平に付くとさらに雨も風も酷く、引き返し10時頃から温泉付きの「雷鳥荘」で宿泊決める。切れた雲がなくなり、室戸平から360度の山の風景が現れました。夜には満天の星と、明日への希望を持つて床に。
*27日 木道歩きの名滝の散策コース(歩行6時間)も雲行きが悪く、早々に天狗平の宿。絶景も少なく達成感も乏しかった、今年の夏の山行でした。(1)